



# いばらき県議会だより

No.193

茨城県議会

検索

<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています  
県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>  
「いばキラTV」 <http://ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]



## いばらきの秋を満喫しよう!

袋田の滝(大子町)の紅葉の様子



茨城県北部の郷土料理「つけけんちんそば」



農業産出額全国1位を誇る「ほしいも」

いばらきの観光情報は「観光いばらき」ホームページでご覧いただけます。 <http://www.ibarakiguide.jp/>

### 今定例会の概要

平成二十七年第三回定例会は、九月四日から十月一日まで二十八日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、平成二十七年九月関東・東北豪雨による被害からの早期復旧及び生活再建への支援等を求める意見書など、知事から、茨城県一般会計補正予算、職員の退職手当に関する条例及び職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例などが提出されました。

代表質問は、持続的ながん対策の推進、県政運営に向けた決意、圏央道を核とした企業誘致の方向性、プレミアム付き商品券の発行などによる県内の経済効果などの項目について行われました。(二～三面)

一般質問は、結婚支援の充実強化、女性の活躍推進、茨城国体への障がい者の参加などの項目について行われました。(四～六面)

各常任委員会は、付託議案の審査、その他所管事項に関する質問を行いました。また防災環境商工委員会、農林水産委員会、土木企業委員会では、関東・東北豪雨による被害状況の現地調査を行いました。(七面)

決算特別委員会は、平成二十六年度茨城県公営企業会計決算の認定などについて審査しました。(五面)

予算特別委員会は、豪雨災害への対策を集中的に審議しました。(八面)

地方創生に関する調査特別委員会では、「集中的に対応していくべき最重点項目」などの提言内容の検討を行い、中間報告書をまとめました。(五面)

今回の定例会では、予算、条例、人事報告、意見書、請願などの三十三件の議案などが可決、同意、承認、採択されました。

### 代表質問※(要旨)



議員 洋治 常井  
市民党 出選  
いばらき市 笠間  
一括方式

#### 持続的ながん対策の推進

議員 がん対策を持続的に推進する上で、推進体制の充実と財源の確保は必須である。がん対策の専門部署や医学的知見に基づきこれを統括する職の設置、新たな税の導入や必要な対策に弾力的に対応するための基金の創設を提案するが、所見は。

#### 知事 がん対策は極めて重要な課題と認識している。組織体制

については、来年度の予算編成に当たり、総合的に検討する。財源確保のため、すぐに新税を創る考えはないが、基金については、がん対策のさらなる充実のため志のある皆さまの寄附の受け皿として設置している他県の例も参考としながら検討する。

#### 農業のグローバル化への対応

議員 農業のグローバル化が進

● 質問者	9月9日(水)	常井 洋治 (いばらき市民党)
	9月10日(木)	江田 隆記 (自民県政クラブ)
		井手 義弘 (公明党)
		佐藤 光雄 (民主党)

## 第3回定例会の主な日程

平成27年第3回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 9月4日(金) 本会議 (開会、知事提出議案説明)
- 9月9日(水) 本会議 (代表質問・質疑)
- 9月10日(木)
- 9月14日(月) 本会議 (一般質問・質疑)
- 9月15日(火)
- 9月16日(水)
- 9月17日(木)
- 9月18日(金) 常任委員会
- 9月24日(木) 本会議 (予算関係議案常任委員長報告等)
- 9月25日(金) 決算特別委員会
- 9月28日(月) 予算特別委員会
- 9月29日(火) 地方創生に関する調査特別委員会
- 10月1日(木) 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

展する中であつて、強い経営体の育成は大きな課題である。新しい経営体による農協に準ずる共同組織の育成なども視野に入れ、これに積極的に取り組むべきと考えるが、対応は。

知事 経営感覚に優れた強い経営体の育成は極めて重要であるため、農業経営の法人化などを推進しているところであり、特徴ある経営を展開する法人も育っている。一方、県内の農協では系統外の組織との連携が課題となつている。新たな茨城農業改革大綱に、「強い経営体の育成」を始めとして具体的な施策を位置付け、着実に推進する。

#### 高速道路網の整備進展に伴う陸路ネットワークの強化

議員 高速道路網の整備が進展する中、これと有機的に結合した幹線道路網の整備が求められる。特に、笠間市の道祖神峠のトンネル化を含む茨城縦貫幹線道路など新たな交通軸となる二路線は、県北振興の面からも多大な整備効果が期待されるが。

知事 高速道路やこれを補完する幹線道路の充実、本県発展

の要因の一つと認識する。県北山間地域で顕在化している課題の解決を図る上でも、広域的な道路ネットワークの推進は大変重要である。提案の二つの交通軸のような広域的な道路ネットワークのあり方に関しては、財源も含め総合的に検討し議論を重ねることが必要と認識する。

本県教育の目指すべき姿

議員 教育行政が大きな節目を迎える今、本県教育の目指すべき姿を明確にする必要がある。「教育立県日本一」を掲げ、さらなる「知・徳・体」の向上に取り組みとともに、これに資する幼児教育の重要性に鑑み、その充実を提案するが、所見は。

教育長 優れた面をさらに伸ばすとともに、課題をしっかりと克服しながら、教育立県日本一を目指す気概で、知・徳・体のバランスのとれた子ども達の育成に取り組む。幼児教育の充実を図り、自主性・自立性などを育成することは極めて重要であり、そのあり方について、教育委員会の枠を超え検討を進める。

の要因の一つと認識する。県北山間地域で顕在化している課題の解決を図る上でも、広域的な道路ネットワークの推進は大変重要である。提案の二つの交通軸のような広域的な道路ネットワークのあり方に関しては、財源も含め総合的に検討し議論を重ねることが必要と認識する。

#### 地域警察力の充実・強化

議員 警察施設の再編整備が進むが、治安は警察と地域との連携協力により図られることから、地域密着型の体制が志向されるべきである。また、人や企業を呼び込む観点からも、地域防犯活動による安全確保は重要である。地域警察力の充実強化は、警察本部長 パトロール活動を見せるとともに、その実施を周知



幼児教育の充実を (写真は食育教室の様子)

### 今定例会で可決された議案

- 議員等提出
  - 意見書
    - 平成二十七年九月関東・東北豪雨による被害からの早期復旧及び生活再建への支援等を求める意見書
    - 公共事業予算の増額を求める意見書 ほか三件
  - その他
    - 県有財産の売却処分について
    - 財産の出資について
    - 工事請負契約の締結について ほか八件
- 知事提出
  - 平成二十七年年度補正予算関係
    - 一般会計予算
    - 病院事業会計予算
    - 工業用水道事業会計予算
    - 地域振興事業会計予算
    - 鹿島臨海都市計画下水道事業会計
  - 条例の一部改正
    - 職員の退職手当に関する条例及び職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例
  - 人事
    - 教育委員会委員の任命について
    - 人事委員会委員の選任について
    - 公害審査会委員の任命について
  - 報告
    - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

### 可決された意見書

- 公共事業予算の増額を求める意見書
- 環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉参加に関する衆参両院農林水産委員会における決議の遵守等を求める意見書
- 教育予算の拡充を求める意見書
- 茨城県内に立地する政府関係機関の移転反対等に関する意見書

### 採択された請願

- 保健福祉委員会
  - AEDの使用促進に関する請願
  - 農林水産委員会
    - TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する請願
  - 土木企業委員会
    - 中通川拡幅工事早期完了に関する請願
    - 文教警察委員会
      - 教育予算の拡充を求める請願

### 質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようになっております。

- 一括方式
  - 質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求める方式。
- 分割方式
  - 質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める方式。

※【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。

※【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。

### 代表質問(要旨)



議員 佐藤 光雄  
民主党 戸市選 一括方式

#### 県政運営に向けた決意

議員 県には、全力で取り組まなければならない課題が山積している。知事として六期目後半のスタートを迎えようとしているが、県政運営に向けた決意は、

知事 まずは災害に強い県土づくりの力を入れていく。次に、企業誘致の強力な推進と、中小企業の振興に努める。人口減少対策としては、定住人口と交流人口の確保に力を入れていく。科学技術や農業などの分野で日本をリードし、我が国の発展の一翼を担える茨城づくりの実現に全力で取り組む決意である。



議員 井手 義弘  
民主党 立市選 一括方式

#### プレミアム付き商品券の発行などによる県内の経済効果

議員 県内市町村では、国の「地域消費喚起・生活支援型交付金」を活用し、プレミアム付き商品券の発行などの事業が行われているが、この交付金の総交付額及び交付による経済効果は、

知事 交付金は、県内市町村に約三十六億円交付決定されている。各市町村では、交付金により総額約百七十億円のプレミアム

#### 医療・介護の充実

議員 県では、地域の将来の医療需要や病床の必要量など、二〇二五年を見据えた医療提供体制の構築に向け、地域医療構想の策定を進めている。必要な医療や介護を確保し、充実させていくために、どのような方針で策定を進めるのか。

知事 医療と介護の連携や介護サービスの必要量など、地域包括ケアシステムの取組状況を踏まえ、幅広い関係者と十分に協議し、県民の理解を得ながら、策定を進めていく。

#### 労働教育の充実

議員 一部の経営者のワークルールに対する認識やモラルの欠如によるブラック企業などが社会問題化していることから、労働者としての知識を高める授業を計画的に行うことが重要で

ある。学校教育における労働教育の充実はどう取り組むのか。

教育長 国での公民科の新しい科目「公共」の導入も見据え、労働教育の充実を図っていく。また、教員に対して、働くときのルールなどをまとめた厚生労働省作成の教材の活用方法について研修を実施し、各学校における指導の充実を図っていく。(ほかに、対日投資の県内誘致、生活困窮者の支援なども質問)



災害に強い県土づくり(日立市小木津海岸の堤防かさ上げの様子)

#### 茨城の魅力発信力の向上

議員 本県の魅力向上のためには、地域経済の活性化につながる地域ブランドを磨き、それを今まで以上に発信していくことが重要であり、そのツールとして、いばキラTVを充実強化すべきと考えるが、知事の所見は、

知事 いばキラTVの充実については、事業の費用対効果も勘案しながら検討していく必要があるが、映像による本県の情報発信はますます重要性を増して

#### 動物愛護行政の推進

議員 犬猫の殺処分ゼロを進めるためには、犬猫の譲渡を進めるための施設、ボランティアの活動拠点としての施設など、多目的に活用できる動物愛護の拠点施設整備が必要条件であると考えているが、知事の所見は、

知事 県としても拠点施設の必要性は認識しているが、財政面や人員面での負担が大きいことや、動物愛護に関する県民のさまざまな意見なども踏まえる必要があることから、動物指導セ



多目的に活用できる動物愛護の拠点である横浜市動物愛護センター



議員 江田 隆記  
自民県政クラブ 古河市選 一括方式

#### 圏央道を核とした企業誘致の方向性

議員 圏央道を核とした県西・県南地域の活力を最大限に高めていくため、いかなる方針で企業誘致を進めていくのか。

知事 圏央道沿線地域へは、日野自動車関連企業、首都圏への近接性を重視する食品関連企業、コスト削減を目指す物流関連企業やつくばの科学技術の活用が見込まれる企業などの立地が期待される。今後も金融機関などの情報交換を一層密にするとともに、圏央道開通による本県の優位性を広くPRし、多くの企業の誘致につなげたい。

#### 発達障害の早期発見・早期支援体制

議員 発達障害の疑いがある幼児を早期発見できる五歳児健診は、その後の適切な指導や保護者の真剣な就学先の検討が期待できる。五歳児健診を進めていくべきであるが今後の方針は、

知事 五歳児健診は幼児教育と学校教育を結ぶ中間点の健診として意義があるが、実施にあたり健診後の支援体制の充実が必須となる。発達障害について医師や臨床心理士の相談対応や療育機関との連携、市町村の相談技術向上を図る研修の充実など、支援体制を整えつつ五歳児健診の取り組みの意向がある市町村対象に、来年度のモデル事業の実施に向けて計画を進めていく。

#### 介護に必要な人材確保に向けた取り組み

議員 十年後に約一万人不足する介護人材の確保に向けた方策

としてEPA※に基づく外国人介護福祉士候補者を積極的に受け入れるべきと考えるが所見は、

知事 地域医療介護総合確保基金を活用し介護人材確保に取り組みとともに、外国人介護福祉士候補者の受け入れを進めている。県も介護施設などで外国人介護福祉士候補者の積極的な受け入れを進めていくべきと考える。(ほかに、農産物の輸出拡大、理科教育の推進なども質問)



圏央道と常磐道を結ぶ「つくばジャンクション」

### 北川正恭先生による県議会主催の講演会を開催しました

十月一日に「二元代表制における県議会の役割」と題して、県議会主催の講演会を議事堂大会議室で開催しました。講師には、元三重県知事、現在、早稲田大学名誉教授で早稲田大学マニフェスト研究所の顧問を務める北川正恭先生をお招きしました。

北川先生は、「形式的な改革だけではなく、実質的な改革が求められている。民意を反映した県民が認める改革でなければならない。北川正恭が本気で改革を行えば、地方創生が実現され、住民自治につながる」と、議会改革の必要性を強調されました。また、「今は、地方分権から地方創生への転換期であり、今後ますます議会の役割が重要になる」と、示唆に富んだ貴重な講話をいただきました。



北川正恭早稲田大学名誉教授による講演会の様子

ことば ※[EPA] …二国間の経済上の連携を強化する観点から、公的な枠組みで特行的に行う経済連携協定。

### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

9月14日(月)

川口 政弥  
(自民県政クラブ)

安藤 真理子  
(いばらき自民党)

島田 幸三  
(いばらき自民党)

9月15日(火)

高橋 勝則  
(いばらき自民党)

田村 けい子  
(公明党)

中村 修  
(いばらき自民党)

9月16日(水)

上野 高志  
(日本共産党)

石田 進  
(いばらき自民党)

本澤 徹  
(いばらき自民党)

9月17日(木)

岡田 拓也  
(いばらき自民党)

二川 英俊  
(民主党)

石井 邦一  
(いばらき自民党)



川口 政弥 議員  
自民県政クラブ  
取手市選出  
一括方式

#### 結婚支援の充実強化

議員 本県が常に自治体における結婚支援のトップランナーでいられるよう、今後、本県の結婚支援の充実強化に向けて、どのように取り組んでいくのか。

知事 いばらき出合いサポートセンターのPRやセンター会員へのサービス向上のほか、先進的なシステムの導入に向けた検討を進めていく。また、マリッジサポーターの増員や資質向上を図るほか、市町村間の連携などに取り組み、結婚支援の充実強化を図っていく。

#### 教員の資質向上に向けた取り組み

議員 教員の資質向上無しには、本県教育の質の向上はあり得ない。教員の資質の向上について、どのように取り組んでいくのか。

教育長 教員としての真の力量を見抜く人物重視の選考となるよう、採用試験の積極的な改善を行い、優秀な人材を確保するとともに、最新の教育事情を踏まえた教員研修の充実強化を図り、教員の資質の向上に努めていく。

(ほかに、利根町における水田の基盤整備事業、北浦川の整備なども質問)



いばらき出合いサポートセンターでのお見合いの様子



安藤 真理子 議員  
いばらき自民党  
土浦市選出  
一括方式

#### 女性の活躍推進

議員 働く女性の活躍推進のためには、家庭と仕事が両立できる環境の整備とともに、男女が互いに認め合いながら意識向上を図る必要があるが、今後の取り組みは。知事 多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図るとともに、就業継続を可能とする環境の整備や女性のキャリアアップへの意識向上に一層力を入れて取り組む。また、男性の育児参画を促進するなど仕事上の不安を解消し、女性の働く意識向上を図っていく。

#### 国道三五四号土浦バイパスの整備

議員 国道三五四号土浦バイパスは、未整備の二車線区間があり渋滞が激しいが、土浦協同病院の開院によりさらに大混雑が予想される。四車線化整備の見通しは。土木部長 事業区間の東側約半分は四車線化が完了した。続く常磐線跨線橋を含む約七百メートル区間は、残る用地取得に努め、今年度は用地確保できるところから工事を進める。さらに西側に続く区間は、来年度工事に着手したい。

(ほかに、レンコン産地の生産振興、認知症サポーターの活躍なども質問)



キャリアアップ講座の様子



島田 幸三 議員  
いばらき自民党  
小美玉市選出  
一括方式

#### 茨城国体への障がい者の参加

議員 昨年、「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」を制定したことを踏まえ、茨城国体において、全国障害者スポーツ大会出場選手などによるエキシビジョン競技を実施できないかと考えるがどうか。

知事 各競技会終了後のエキシビジョンとして、全国障害者スポーツ大会の本県選手と健常者が一体となつて対戦する競技種目を設けられるかなど、競技団体や会場地市町村などと協議していく。

#### 茨城空港の活性化

議員 百里基地と協力し、空港、基地、空のえきそ・ら・らの周遊コースをつくることで、空港来場者の増加が図れると考えるが、空港活性化にどう取り組むのか。

企画部長 周遊について、小美玉市や基地とも連携し、モデルコースの提案や空港ビルでのPRなどを検討する。今後とも、多くの方に航空機を利用していただくことに、空港における賑わいづくりに取り組み、活性化を図っていく。

(ほかに、県道紅葉石岡線、県道上吉影岩間線の整備なども質問)



トラックを疾走する車いすランナー



高橋 勝則 議員  
いばらき自民党  
古河市選出  
一括方式

#### 茨城空港への国際線の誘致

議員 共用空港としての課題はあると思うが、東京オリンピック・パラリンピックなど、多くの訪日客が見込めるチャンスを最大限に活かすべきと考える。チャーター便を含めた国際線の誘致について、今後どのように取り組むのか。

#### 国道三五四号バイパスの整備

議員 県道結城野田線の東側に当たる境岩井バイパスはもろろんのこと、西側についても優先して対応すべきと考えるが、所見は。土木部長 西側のバイパス整備については、物流の効率化など一定の効果が見込まれる一方、多額な事業費が必要になるといった課題もあることから、事業区間の進捗や周辺の交通状況などを勘案しながら、事業化の検討をしていく。

(ほかに、子ども・若者支援地域協議会の設置、児童虐待への対応なども質問)



茨城空港に就航している国際線

### 原子力発電関係道県協議会議長協議会が開催されました

本県を含む原子力発電関連施設が立地する、十三道県協議会の議長で構成される「原子力発電関係道県協議会議長協議会」が七月二十四日に開催されました。定期総会において会長県が本県から福井県に変わるとともに、同日、本県の細谷典幸議長を含む協議会会員議長は、高木陽介経済産業副大臣のほか、谷垣禎一自民党幹事長および池田克彦原子力規制庁長官を訪問し、原子力発電の安全確保などに関する要請書を提出しました。

要請において、細谷議長は原発事故などにより本県の観光や漁業が風評を払拭し切れしていないことから「国が先頭に立って安全性についての情報発信を行っていただきたい」と求めたのに対し、高木副大臣は「国を挙げて風評被害の対策に取り組んでいく」と答えました。



高木陽介経済産業副大臣(右から3人目)に要請書を手渡す細谷典幸議長(右から1人目)

# 一般質問(要旨)



議員 田村 けい子  
明市選出  
くば市選出  
分割方式

## 今後の観光振興方策

議員 人口減少と少子高齢化が進展する中、観光の振興は今後ますます重要になる。地方創生を推進する観点から、今後の観光振興をどのように図っていくのか。

知事 本県は筑波山などの魅力ある自然をはじめ、さまざまな地域資源に恵まれており、今後も、地域の発想を大切にしながら、地元市町村や関係団体などと連携し、地域資源の発掘や新たな活用を図るなどして、観光の振興に全力で取り組んでいく。



議員 中村 修  
いばらき自民党  
取手市選出  
一括方式

## 地方創生と遠隔医療の推進

議員 高齢者の健康寿命を延ばすためにも、遠隔医療による予防医療が重要である。また、住民参加型のコミュニティにおいて実施すれば、地方創生につながる可能性がある。今後の取り組みは。

知事 遠隔医療による予防医療の実施は、地域コミュニティの形成などの観点から大変有意義であり健康寿命の延伸などにもつながると考える。遠隔医療について庁内で検討を進めるとともに、実施を希望する市町村などを支援する。

## 家庭教育支援の重要性

議員 家庭教育の普及の低下や教育基本法の改正を受け、各自治体では家庭教育支援条例を制定している。家庭教育支援の重要性についてどのように認識しているのか。

教育長 家庭教育は、すべての教育の出発点である。条例制定の先行県の成果などを注視するとともに、子供たちの自主性を育てるため、より一層の支援に努める。(ほかに、スマホ・ネット問題における総合対策の推進、引きこもり対策における連携強化なども質問)

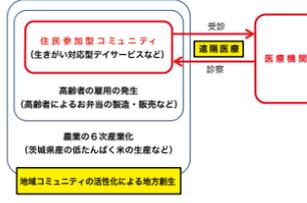


魅力ある自然を有する筑波山

## 飼料用米の活用推進と豚肉のブランド化

議員 養豚は、ブランド化などに取り組む必要がある。一方、飼料用米は、安全安心な国産の飼料として消費者にPRできる。今後の飼料用米の活用と豚肉のブランド化への取り組みは。

農林水産部長 飼料メーカーへの供給量を拡大して飼料用米を配合した飼料の利用を積極的に進める。豚肉のブランド化では、現在、脂肪交雑に優れた豚肉生産を可能とする雄豚の開発を進めている。(ほかに、AEDなどの普及促進、家庭教育への支援なども質問)



地方創生と遠隔医療のイメージ図



議員 上野 高志  
日本共産党  
日取市選出  
一括方式

## 平和行政の取り組み

議員 戦後七十年の節目の事業にとどまらず、本県の平和行政の推進体制をつくり、広島平和記念式典への高校生の派遣や派遣市町村への支援、原爆展の実施などの取り組みを求めるが、所見は。

知事 平和行政の推進は広範囲に及ぶので、各分野に係わる部局において専門知識を生かし対応する。式典の録画映像の授業での活用など平和教育の充実を努めるほか、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝える取り組みを継続していく。

## 非正規雇用の正規化への支援

議員 安定雇用の創出は県の発展につながる。非正規から正社員化を目指す目標を持つことや、正社員化促進のための県独自の助成制度の新設を求めるが、所見は。

知事 策定中の地方創生の総合戦略の中に正規雇用化に関する目標と、その実現のための具体的事業を位置付け取り組んでいく。国の助成制度があるため、県では面接会の実施など、新卒時の正規雇用による就職などを促進していく。(ほかに、安保関連法案への認識、国民健康保険事業なども質問)



就職面接会の様子



議員 石田 進  
いばらき自民党  
いばらき市選出  
神栖市選出  
分割方式

## 鹿島臨海工業地帯の将来像

議員 鹿島臨海工業地帯の将来像の中に水素による新たなエネルギー拠点の形成を位置付け、実現を目指すべきと考えるが、所見は。

知事 鹿島臨海工業地帯では競争力強化プランを検討しており、水素の利活用などが重要な検討項目となっている。今後は、競争力強化検討会議などの中で、水素需要の伸びや技術開発などの中長期的な動向も踏まえ、水素による新たなエネルギー拠点としての当工業地帯の可能性を検討していく。

## 津波避難対策

議員 巨大地震による津波被害を軽減するため、市民の避難意識の向上と避難訓練の充実が必要と考えるが、今後の取り組みは。

生活環境部長 津波避難に関する講習会の開催などにより住民の避難意識の向上を図るとともに、具体的な避難経路などについて市町村とともにきちんと検討し、実効性のある津波避難訓練となるよう努めていく。(ほかに、消防救急デジタル無線システムなどの整備、合併市町の行政機能の強化なども質問)



競争力強化が検討されている鹿島臨海工業地帯

## 決算特別委員会を開催しました

決算特別委員会(本澤徹委員長)では、九月十七日に付託された「平成二十六年年度茨城県公営企業会計決算の認定」ほか三議案について、九月二十五日に委員会を開催し、審査を行いました。審査にあたっては、公営企業を所管する企業局、病院局、土木部の各部局から事業実績などの説明を聴取するとともに、監査委員に決算審査意見を求め、詳細な審査を行いました。

今後は、十月一日に付託された「平成二十六年年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定」について、閉会中に委員会を開催し部局ごとの審査を行い、第四回定例会の会期中の委員会において総括質疑、採決を行う予定です。

## 地方創生に関する調査特別委員会

### 地方創生において集中的に対応していくべき最重点項目などについて取りまとめ中間報告

本委員会(飯塚秋男委員長)では、これまで六回の委員会を開催し、地方創生に関する諸方策について活発に議論してきました。九月に開催した第六回委員会では、これまでの調査・検討結果を踏まえ、提言内容について検討を行ったところであり、県の「総合戦略」および「人口ビジョン」の策定に向け、今定例会の最終日(十月一日)に、委員会で取りまとめ「集中的に対応していくべき最重点項目」などについて中間報告を行いました。

また委員会では、国が地方創生の一環で進める「政府関係機関の誘致」に関して、東京圏に含まれない本県に立地する研究機関などが他県から誘致の提案を受けたことから、これを確実に防止するため、国に対する「茨城県内に立地する政府関係機関の移転反対等に関する意見書」を決議し、今定例会の最終日に可決されました。



知事に中間報告書を手渡す細谷典幸議長(左から2人目)、山岡恒夫副議長、右から2人目は飯塚秋男委員長、1人目は村上典男副委員長

### 一般質問(要旨)



議員 本澤 徹  
いばらき自民党  
いばらき市選出  
一括方式

#### 「公立小・中学校の統廃合」のあり方

議員 公立小・中学校の統廃合に当たっては、保護者の教育観を優先した「学校の選択制」を導入し、新築校舎による統廃合を改め、既存の校舎を活用した、長期的で柔軟な対応が必要であると考えるが、所見は。

教育長 今後、統廃合を行った学校や市町村を対象とした統廃合に関する実態調査の結果を詳細に分析・検証し、本県における統廃合に関する考え方や支援のあり方などについて検討する。



議員 岡田 拓也  
いばらき自民党  
いばらき市選出  
一括方式

#### 地域の伝統文化の継承・保存

議員 少子高齢化などにより、地域に根ざした祭りやお囃子などの伝統文化の継承・保存が難しくなっているが、今後、どのように取り組んでいくのか。

生活環境部長 祭りや年中行事などの伝統文化の映像や音声などの情報を、市町村や伝統文化の保存団体から広く収集し整理する取り組みを進めている。今後、継承が中断しても復活できるように、お囃子を楽譜として残すなど、新たな保存方法についても検討したい。

#### 涸沼湖岸堤の遊歩道整備

議員 涸沼の来訪客などが安心して散策し、その自然を満喫できるように、湖岸堤の遊歩道整備が不可欠であると考えているが、今後の整備予定は。

土木部長 涸沼の北側および南側の一部については、既に遊歩道などを整備している。整備が残る区間についても、周辺の茨城町、大洗町および鉾田市の意見や要望を聞きながら、今後、整備を検討する。

(ほかに、主食用米から飼料用米への転換、鹿行北部地区の救急医療体制の充実なども質問)



楽しそうに通学する小学生

#### 結婚支援事業における変わりゆく結婚観への対応

議員 変わりゆく若者の結婚観にどのように対応し、結婚支援に取り組んでいくのか。

保健福祉部長 結婚に消極的な意見もある中、「結婚・子育てポイントキャンペーン」を実施し、結婚を前向きなものとして捉えてもらうよう取り組むとともに、若い世代に対するフェイスブックやツイッターなどを通じた効果的な情報発信についても検討していく。

(ほかに、災害ボランティアの支援体制の強化、次世代エネルギーの可能性なども質問)



一時中断し、その後復活した高萩市の「丹生(たんしょう)神社の棒ささら」



議員 二川 英俊  
民 主 党  
ひたちなか市選出  
一括方式

#### ひたちなか地区の今後の開発

議員 ひたちなか地区の開発について、国有地などは土地利用が進んでいない状況である。留保地利用計画の策定から約十年が経過しようとする中で、今後、どう開発を進めていくのか。

知事 今後、地元の皆さまや有識者による留保地活用検討会議を立ち上げ、地元住民を含めたより多くの関係者が共有できる留保地活用の方向性をできるだけ早期にまとめ、ひたちなか地区のさらなる発展に向け、鋭意取り組む。

#### 政治参加に関する教育の推進

議員 選挙権年齢が十八歳に引き下げられたが、今後、学校において生徒の政治参加に関する教育をどのように推進するのか。

教育長 高校生向けの副教材などを活用した学習のほか、模擬投票・模擬議会の実施や、実際に議会を傍聴する取り組みなどを、各学校に対して積極的に促し、できるだけ実践的かつ体験的な活動を取り入れながら、生徒の政治参加への意識を高めていく。

(ほかに、少人数教育の充実、地域医療の人材確保なども質問)



さらなる発展が期待されるひたちなか地区



議員 石井 邦一  
いばらき自民党  
いばらき市選出  
常陸太田市選出  
一括方式

#### 河川事業の予算の確保

議員 台風十八号などによる鬼怒川の堤防の決壊をはじめ、近年の気候変動などにより、各地で洪水被害が多発している。洪水から県民を守る河川事業について、どのように予算を確保していくのか。

知事 国の直轄事業や、県の河川事業の七割を占める国の補助による事業の予算については、中央要望などを通じて、市町村と連携し、国などに対する働きかけを強める。また、県単公共事業費についても、今後のあり方を積極的に検討する。

#### 木造建築供給の担い手支援

議員 県産木材の利用拡大のため、木造住宅の建設に携わっている工務店などに対し、どのように支援していくのか。

土木部長 技術力・競争力強化のため、省エネ技術や県産木材活用に関する講習会を開催するほか、消費者に向けた木造住宅のパネル展示会などを行う。また、県営住宅の木造化については関係団体と連携し、検討・調査を進めていく。

(ほかに、人口ビジョン・総合戦略の策定、県有林などへのネーミングライツの導入なども質問)



関東・東北豪雨の影響による洪水の様子(常総市)

## 茨城県議会改革推進会議が開催されました

第一回茨城県議会改革推進会議(田山東湖座長)が八月三日に開催され、全会派から選出された十一名の委員およびオブザーバーとして細谷典幸議長と山岡恒夫副議長が出席しました。会議では、今後のスケジュールや議会改革に関して今後検討していくべきテーマなどについて座長案が提示され、決定・了承されました。また、参考人として出席された常磐大学准教授の吉田勉氏より、近年問題となっている公務活動費制度の概要とあり方についてのご説明をいただいた後、委員と活発な意見交換が行われました。

九月四日には、第二回会議が開催され、前回の会議で了承された議会改革に関する検討テーマについて、委員より項目の追加提案があり、今後の検討課題とすることになりました。また、参考人として出席された元全国都道府県議長会議事調査部長の野村稔氏より、常任委員会の活性化、議会事務局の情報調査部門の充実などの議会改革に向けた取り組みについてご説明をいただきました。



# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

### 県管理河川などの維持管理予算についての対応は 今回の災害を受け、充実を検討していく

問 関東・東北豪雨による災害を受けて、県が管理する河川などを十分に維持管理していく必要がある。来年度の予算編成に向けてどう対応していくのか。

答 基本は国の地方財政計画の動向を踏まえての対応となるが、今回の災害を受け、来年度予算編成に向けて、県単独公共事業の充実について検討していく。

問 県政世論調査によると、二〇一九年に本県で開催される国民体育大会について、認知状況は約三割である。今後、国体の認知度向上に向けてどう取り組んでいくのか。



いきいき茨城ゆめ国体のマスコットキャラクター「いばラッキー」

答 全市町村でのPRや国体ダンスの普及などによる宣伝活動のほか、県内のイベントに国体開催記念の冠を付けてもらえるよう働きかけていく。(ほかに、茨城空港・周辺地域活性化キャンペーンの効果、若者支援事業なども質問)

## 農林水産委員会

### 被災施設の早期復旧に向けた対応は 国の災害復旧事業などで対応する

問 関東・東北豪雨で甚大な浸水被害を受けたJA常総ひかりのカントリーエレベーター<sup>\*</sup>や排水機場などの土地改良施設の早期復旧にどのように対応していくのか。

答 いずれも国の災害復旧事業などで対応可能であることから、今後は、国の査定承認を受け次第、速やかに復旧工事に着手する。

問 来年五月のG7茨城・つくば科学技術大臣会合では、各国大臣や関係者が多数来県する。本県農林水産物の魅力を発信する絶好の機会に県はどのように対応するのか。

答 県主催レセプションで県



関東・東北豪雨で浸水被害を受けたカントリーエレベーター(常総市)

産食材を使った料理の提供を行うほか、パンフレット配布やパネル展示などにより、情報発信を行っていく。(ほかに、農作物被害に対する救済および支援、農林水産物地域ブランド力向上緊急支援事業なども質問)

## 防災環境商工委員会

### 災害廃棄物の処理に向けた取り組みは 県などと市が連携しながら対応していく

問 今回の豪雨で被災した常総市では、ごみ処理を行う一部事務組合が二つに分かれているが、発生した災害廃棄物の処理にどう取り組むのか。

答 一部事務組合が二つでも現場は一つであるため、県の職員や国・関係機関の専門家が常総市に常駐し、現場で解決策を検討するなど、市としっかり連携しながら、実態に合った対応をしていく。

問 東日本大震災時における中小企業グループ補助金のような支援制度の創設を国に働きかけていくべきではないか。

答 先日の政府とのテレビ会議においても、副知事から防



仮置きされている災害廃棄物の様子

災担当大臣にそのような支援制度の創設を要望したところである。被災された中小企業の復旧・復興に向けて、全力で働きかけていきたい。(ほかに、災害時応援協定の実態、工業技術センターの役割なども質問)

## 土木企業委員会

### 予算が削減される中、道路や河川の整備などの現状は 厳しい状況にあり、さらなる予算の確保が必要

問 国や県の公共事業費予算が削減されていく中で、道路や河川の整備、維持管理などについての現状は。

答 バイパス整備など多額の予算を要する事業が困難となっているほか、維持管理に関しては路面修繕や河川補修が十分に行えないなど、厳しい状況にある。限られた予算の効率的な執行に努めているが、今後、構造物の多くが耐用年数を迎えることなどから、さらなる予算確保が必要である。

問 常総市の豪雨災害において、復旧作業などに支障となる放置車両への対応は。

答 災対法による道路区間の



審議を踏まえ、委員会より土木部・企業局に公共事業予算の増額を提言

指定<sup>\*</sup>を行い、放置された車両四十八台のうち、三十三台を国と県が、残りを所有者自身で移動した。今後は、早期の交通規制の解除に取り組む。(ほかに、道路および河川の復旧状況と対策、上水道の復旧なども質問)

## 保健福祉委員会

### 障害者福祉施設の工賃向上の目標設定の考え方は 各事業所の現状と県の支援による効果などを考慮して設定

問 障害者福祉施設(B型事業所)における工賃は、平成二十九年度に一万三千五百円を目指すとのことだが、この目標設定の考え方は。

答 本県は、工賃の低い事業所が全体の約半分を占めており、これはノウハウや販路がないことなどが原因と考える。県の支援による効果などを考慮し、目標を決定した。

問 介護職員の不足が見込まれ、介護の質の低下が危惧される中で、認知症支援がますます重要となるが、認知症高齢者支援強化事業とは。

答 かかりつけ医やサポート医をはじめ、医療従事者の対



工賃向上の取り組みを推進

応力向上のための研修や、認知症介護家族を支援する交流会の開催、認知症に関する正しい知識の普及啓発のほか、施策推進のための検討などを行うこととしている。(ほかに、新中核病院基本構想、被災者の状況なども質問)

## 文教警察委員会

### 今後の道徳教育の進め方は 高校二年生にも道徳の授業を導入していく

問 高校生の意識に関する調査結果をみると、他国と比べ、親を尊敬する割合などが低くなっている。本県が道徳教育を推進するなか、今後、どう進めていくのか。

答 高校生向けの道徳テキストを活用するとともに、今後は一年生に加え、二年生にも道徳の授業を導入し、思いやりの心を実践する力を高めていく。

問 被災地における女性警察官の支援活動など、女性警察官の活動の場が広がる中、働きやすい職場環境づくりにどう取り組むのか。

答 交番、刑事課への配置な



県立高校での道徳の授業の様子

ど、今後は女性警察官の活動の場を拡大していくとともに、育児休業などの制度面のさらなる充実や交番のトイレなど施設面の整備も進めていく。(ほかに、被災した子供たちへの支援、交番やパトカーへのAEDの設置なども質問)

ことば <sup>\*</sup>【カントリーエレベーター】…米などの穀物の乾燥、調製、貯蔵を行う大型施設。  
<sup>\*</sup>【災対法による道路区間の指定】…災害対策基本法に基づき大規模災害において、緊急車両の通行ルートを確認するための区間を指定するもの。これにより、道路管理者が車両の運転者に移動を命令し、運転者が不在の際などには道路管理者自ら移動を行うことが可能となる。なお、国と県が移動した車両数については、その後さらに4台移動し、最終的に37台となっている。

# 予算特別委員会

## ●質問者

- 常井 洋治 (いばらき自民党)
- 鈴木 将 (いばらき自民党)
- 齋藤 英彰 (民主党)
- 江尻 加那 (日本共産党)
- 下路 健次郎 (いばらき自民党)
- 田村 けい子 (公明党)
- 西野 一 (いばらき自民党)
- 臼井 平八郎 (自民県政クラブ)
- 田山 東湖 (いばらき自民党)

## 豪雨災害について、対策を集中的に審議

常井洋治委員(自民) 畜産試験場跡地の利活用に当たっては、中央病院の移転先としての利活用も視野に入れたビジョンを策定すべきと考えるが。

知事 仮に全体を移すとすれば北側の土地も可能性としてはあるが、建替えは、将来の医療需要、地域医療構想などを勘案し、中長期的視点で検討する。

鈴木将委員(自民) 老朽化の著しい水戸市にある県営球場の今後のあり方、整備について、所見は。

教育長 県営球場は、まだ使用できる状況だが、そろそろ建て替える時期にきているのも事実かと思う。県内のス



鬼怒川の応急復旧工事の様子(9月18日現在)

ポーツ施設全体のバランスや財政状況などを踏まえ、長期的に検討していく。

齋藤英彰委員(民主) 九月に発生した豪雨災害による被災者の生活再建支援にどのように対応するのか。

知事 被災者生活再建支援法による支援を被災者が等しく受けられるよう、制度の変更を国に対し要望するほか、県の補助制度についても、必要な予算の増額を行い、対応していく。

江尻加那委員(共産) 鬼怒川の堤防整備率は、栃木県側の六二・七割に比べ、本県は一六・八割と遅れている。今後どのように取り組んでいくのか。

知事 国に対し、河川改修の早期完成に向けて引き続き強く要望するとともに、県管理の河川についても必要な予算の確保に努め、整備を推進していく。



ボランティアセンターの様子(9月18日現在)

下路健次郎委員(自民) 安定ヨウ素剤<sup>\*</sup>の事前配布に係る取り組み状況は。

保健福祉部長 医学・薬学以外の原子力防災に関する一般的な質問についても適切に回答できるよう準備をしている。関係各課および市や村と引き続き連携を強化し、スムーズな配布が出来るよう取り組んで行く。

田村けい子委員(公明) 今後、地域包括ケアシステム推進のための体制づくり、どう取り組んでいくのか。

保健福祉部長 体制構築のため、サービスマニユアルなどコーディネート機能の重要性を関係者間で共有するとともに、市町村間の取り組みに格差が生じないよう推進マニユアルを作成する。

## お知らせ

次回の、平成27年第4回定例会は、12月1日から15日までの15日間の会期日程で開催予定です。

月日	曜	議事予定
12.1	火	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
2	水	休会(議案調査)
3	木	休会(議案調査)
4	金	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
5	土	
6	日	
7	月	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
8	火	休会(常任委員会)
9	水	休会(常任委員会)
10	木	休会(地方創生に関する調査特別委員会)
11	金	休会(決算特別委員会)
12	土	
13	日	
14	月	休会(議事整理)
15	火	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)

西野一委員(自民) 地方創生のカギは人材である。地方創生を担う職員づくりに、今後、どう取り組むのか。

知事 職員が意欲とプライドを持って政策を企画・実行できるよう、県庁外部の多様な価値観や考え方を、発想に触れ、感性を磨いていくための研修の実施や制度の充実などを図っていく。

臼井平八郎委員(自民) 本県のさらなる発展に向けて、今後二年間の知事の県政運営について抱負と決意は。

知事 今後は、特に世界に開かれたいばらきづくり、女性の活躍促進、県北振興などの取り組みを進め、日本をリードし、我が国の発展の一翼を担えるいばらきの実現に向け精一杯努める。

田山東湖委員(自民) 大規模災害に対応すべく県と市町村との避難に係る連携組織の常設化の検討を提案するが。

知事 まずは市町村の災害対応力の向上が重要である。避難勧告マニユアルなどの勉強会を開催するほか、これを情報交換の場として残し、関係機関の連携体制の強化などについて検討する。

## 議会人事

### ◆新議員

七月十二日の茨城県議会議員東茨城郡南部選挙区再選挙で当選した長谷川重幸議員が、文教警察委員会委員に選任されました。



【豪雨被害に係る御見舞金】  
(十月二十三日現在)

他都県議会から、本県へ御見舞金が寄贈されました。

- 東京都議会 五十万円
- 佐賀県議会 三十万円
- 兵庫県議会 十万円
- 奈良県議会 十万円
- 愛媛県議会 十万円
- 大分県議会 十万円
- 長崎県議会 十万円

ことば ※【安定ヨウ素剤】…原子力発電所などの事故で発生した放射性ヨウ素による甲状腺被ばくを低減する薬剤。